

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>パンフレット・独自の書面により保育内容を発信している</p> <p>A4三つ折りのパンフレットが作成されており、入園希望者・見学者に配布されている。保育目標・独自保育・保育料・年間行事・給食等々の情報が網羅されており、簡易な仕様でありながら、必要な情報が得られる内容となっている。またブログにおいて日々の保育の様子が発信されており、園の活動を知ることができる。</p> <p>「主な特色」と題した専用書面により具体的保育内容が示されている</p> <p>行政への情報提供のほか法人、関係機関と連携し、協調した支援となるよう取り組んでいる。また行政のホームページとリンクがなされており、誰もが見られる状況を構築している。「主な特色」と題した園見学者専用の説明用書面が設定されており、英語、給食、持ち物など具体的保育内容が示されている。</p> <p>希望者個別の見学は、体験に近い形で実施されている</p> <p>見学者に対して園の方針や環境を理解してもらえるよう取り組んでいる。パンフレット・園の説明用書面を配布し、保育時間や園の特色など保護者が気になる情報を提供し、理解したうえで入園してもらえるよう取り計らっている。希望者個別に時間を設定し、一組限定にて園の様子を説明している。見学というより体験に近い形を採用しており、ときに散歩の様子などもみてもらいなど園のオープンな姿勢があらわれている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
重要事項・個人情報取り扱いなど説明し、同意を得ている 重要事項説明書等の書式が準備されており、時間や連絡方法など留意事項を説明し、これから始まる園生活に期待を膨らませてもらえるよう対応している。またあわせて個人情報の取り扱いについても了承を得ており、書面の提出をもって確認がなされている。また見学時にはパンフレットのほか、園の特色について書面が配布されており、法人の概要、リトミック・英語・漢字の学習方法、準備するもの、アレルギー対応等がわかりやすく明示されている。		
子ども・保護者双方にとってスムーズで安心な入園となるよう努めている 慣らし保育については一定の協力を求めているものの、保護者の就労を考慮しながら保育が開始されており、子ども・保護者双方にとってスムーズで安心な入園となるよう努めている。家庭とのコミュニケーションを重視し、その家庭ごとの方針や生活様式等に配慮するよう努めている。入園時に収集した情報をもとに園全体で共有し、迎え入れる仕組みが構築されている。		
生活、食事等子ども一人ひとりの環境設定に取り組んでいる 入園前のアンケートや面談結果や提出書類にもとづき、生活、食事等子ども一人ひとりの環境設定に取り組んでいる。また初めて子どもを預ける保護者に対しては特に心配を払拭できるよう努めており、今後も保護者対応の向上は一つの課題として捉えている。また卒園後の進路を見据え、3園との連携を締結しており、継続性への配慮に努めている。連携園との協力のもと見学などがなされており、楽しい雰囲気のもと実施するなどポジティブに卒園してもらえるよう対応に努めている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	13/13
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>健康状態、午睡状況、保育活動等適切な記録と保管に努めている</p> <p>入園時にはアレルギー・家庭状況等の書類を提出してもらい、把握・対応したうえで迎え入れられている。また日々の健康状態、午睡状況、保育活動については、それぞれ様式が定められており、適切な記録と保管に努めている。また連絡帳は複写式のタイプとなっており、園からの伝達だけでなく、家庭での状況報告の記録としても機能している。</p> <p>各指導計画等は子どもたちの育ちと連続性を意識した内容となっている</p> <p>全体的な計画、年間指導計画、月案、週案など領域ごとに目標とねらいが定められており、園の方針や取り巻く環境を考慮した保育となるよう立案されている。また子どもたち一人ひとりの課題・目標等については児童票に収められており、1か月の成長や保育内容が理解できる内容となっている。各指導計画、食育計画、保健計画等は子どもたちの育ちと連続性を意識した内容となっている。</p> <p>情報共有により全職員で全児童を見守る体制が敷かれている</p> <p>毎日の昼礼についてはノートに記録が残されており、出勤していなかった職員も確認ができる仕組みが整備されている。これらの確認のほか、職員間のコミュニケーションにより伝達漏れがなくなるよう取り組みがなされている。特別に担当を設けることなく全職員で全児童を見守る体制から密なる職員間の情報共有と連携が必須であることが認識されている。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の第三者提供について書面をもって同意を得ている 入所時には個人情報の第三者提供について4つの具体的事由を明記・説明し、書面をもって同意を得ている。また個人情報の開示・訂正・利用停止・消去についても明文化がなされている。個人情報保護規程が整備されており、適切な使用と保管にあっている。各種関係機関とのやりとりを要する場合もあり、本事項の適用をもって適正な取り扱いに留意している。</p> <p>子どもたちが安心して過ごせる環境づくりがなされている 子どもたちに芽生え始める羞恥心について保育の中で考慮し、排せつ、おむつ替えの際は人の目に触れることのないように努めている。また着替えについても必ず子どもに話してから行い、プライベートゾーンの確保について配慮に取り組んでいる。男性・女性の職員を問わず、子どもとの信頼関係を築き、安心して過ごしてもらえる環境づくりがなされている。</p> <p>視診等により健康状態・生活状況の把握・記録に努めている 毎日の視診と観察により子どもたちの健康状態・生活状況の把握・記録に努めている。また異常を発見した際には、職員間での情報共有・行政等関係機関との連携により対応を図るよう準備している。子どもたちが安全に安心して暮らすことができるよう生活全般に注意を払いながら様子の観察に取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評		
諸規程・マニュアルのほか「平井マニュアル」が設定されている 就業規則、賃金規程、園則等諸規程、安全管理、感染症対応、防災等のリスク管理マニュアル、ボランティア受け入れ規程等々の規程・マニュアルが完備されている。また園独自のルールや平井マニュアルと題した養護マニュアルも策定されている。基本事項等の確認、理念の実践に役立つよう作成されており、園の保育の基盤として存在している。マニュアル・各種規程については年度末に見直すよう規定されている。		
管理職の丁寧な指導のもと職員育成が実践されている 充実した園内研修の実施、各種マニュアルの設定、新任時教育の実施等職員育成に対して注力した取り組みがなされている。特に園内研修については各職員が業務の合間を見ながら短時間にて管理職の丁寧な指導のもと実施されている。特に現在は将来に向けた土台作りであると認識しており、経験の浅い職員がいかに成長できるかに注力し、体制づくりに尽力している。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもたちの発達や状況に合わせ、個別性に配慮した保育を実践している</p> <p>子ども一人ひとりの発達の過程やその日の状況、家庭での様子を細かく把握しながら保育を実践している。疲れが残っているように見える日にはゆっくり過ごしてもらうよう見守りを重視したり、月齢が上がって来た際には散歩にチャレンジしてみたりなど、個別性に配慮した保育実践に取り組んでいる。管理職の指導をもって職員全員への浸透と共有に努めている。</p> <p>小規模であることの強みを活かした遊びの提供を行っている</p> <p>一人ひとりの発達や興味関心に合わせた遊びの提供や玩具の入れ替え・配置を行い、子どもが自ら遊んだり玩具に触れたり選択出来るよう工夫を施している。園庭やプールがない分、地域の様々な場所に出掛けたり所内にブルーシートを敷いて水遊びを行ったりするなど、小規模であること・限られたスペースであることを強みに変えて、事業所全体で工夫した保育の実践に取り組んでいる。</p> <p>子どもたちの思いや気持ちに寄り添う保育を基本としている</p> <p>個々の特性や発達を踏まえて保育する取り組みは特別な配慮が必要な子どもでもあっても変わらず、子どもたち同士がお互いに育ち合う環境の構築に尽力している。この取り組みは子ども同士のトラブルの際にも同様であり、事故やケガのない範囲で見守り、子どもたちの思いや気持ちを考慮しながらの関わりを基本としている。また、特別な配慮が必要な子どもだけでなく、保護者からの相談にフォローするなど、保護者の不安に寄り添うよう努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>家庭での様子を聞き取り、一人ひとりに合わせた生活習慣習得に取り組んでいる</p> <p>登園時に家庭での様子を聞き取りし、食事・排せつ・睡眠の確認を丁寧に行っている。併せて、複写式の連絡帳で家庭での様子、園での様子をお互いに確認出来るようにして、子どもたち一人ひとりの発達を見守りながらも、必要な食事・排せつ・睡眠等の生活習慣の獲得に向けた保育や援助の取り組みがなされている。これらは子どもや家庭のリズム、スタイルを尊重した保育の実践として事業所の大事な取り組みとしている。</p> <p>複数の職員の目視で行い記録を付けることで安全確保に取り組んでいる</p> <p>個々の発達やその日の状況に合わせて子どもたちが気持ちよく午睡が出来るよう配慮をしている。特に子どもたちの情緒面を大事にし、体調に支障がなければ無理に午睡をさせず、三角コーナーなど園内スペースを活用して静かに遊ぶなど工夫にあたっている。午睡中のチェックは年齢に合わせてその間隔を定め、複数の職員の目視で行い記録を付けることで安全確保に取り組んでいる。</p> <p>特にお迎え時にはコミュニケーションを図り、丁寧な伝達に取り組んでいる</p> <p>登降園時のやり取りを大切に、子どもの発達や状況を細部に至るまで共有出来るように注力している。特に降園時には密にコミュニケーションを図り、その日の子どもの様子や連絡帳に記載されていた家庭での気がかりなこと等に対して丁寧に伝えることを大事にしている。家庭に伝える内容は事前に主任や園長と共有し、事業所全体で対応することを継続して取り組んでいる。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>玩具の入れ換え・スペースへの配慮をもって遊びこめる環境構成に取り組んでいる</p> <p>子どもたちの要求や発達に合わせ、「多様な遊びができるよう・安心して過ごせるよう」職員が見守りながら・誘いながら、子どもたちが思い思いに遊び込める環境構成となるよう取り組んでいる。子どもたちが関わりを持ちながら・興味をもてるよう玩具を定期的に入れ換え、パーティションでの区切りなどスペースへの配慮がなされている。</p> <p>可能性を広げ、自由に表現できる力を身につけられるよう取り組んでいる</p> <p>音楽(リズムック)、英語教育、漢字教育については、専門講師および学校法人である法人本部から指導を受けた職員によるカリキュラムが実施されている。子どもたちの可能性を広げ、多様な教材や絵本の読み聞かせを通じて自由に表現できる力を身につけられるよう取り組んでいる。また日々の職員とのやりとりについても他の職員が言葉を重ねたり言い換えたりなど介入せず、子どもたちが混乱しないよう配慮がなされている。</p> <p>季節や自然に親しみ、多くの体験がなされるよう取り組んでいる</p> <p>積極的な戸外活動がなされており、季節や自然に親しみ、多くの体験がなされるよう取り組んでいる。近くの土手など自然あふれる環境で体力づくりをしたり、散歩時に下町情緒が残る温かな地域の方々や触れ合うなど立地を活かした活動がなされている。各年齢の保育目標や指導計画にはねらいが設定されており、子どもたちの状況を考慮しながら取り組んでいる。また室内外の活動では、子ども同士が文化・習慣・年齢の違いなどを尊重し、互いに刺激し、尊重しあいながら成長できるよう保育を進めている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>一人ひとりに向き合う丁寧な対応から新たな経験や学びの場になっている</p> <p>行事は年間計画を立案しており、日常に変化と潤いを持たせるよう月に1回は季節に関わる行事を実施している。実施に際しては子どもたちが興味や関心を持ち楽しめるよう乳児向けに簡単な内容にし、子どもたちが主体的に参加できるよう雰囲気づくりに努めている。行事企画は職員配置、ねらい等細かく分析されており、次期の参考となるよう綿密な記録が残されている。</p> <p>「日常を楽しむこと」を「煮詰める」方針をもって行事を進めている</p> <p>年に一度開催されるお楽しみ会(発表会)をはじめ、発表に向けてつくりあげるのではなく、日々の保育の中で子どもたちが遊びを通して楽しんでいることを「煮詰める」ことがこころがけられている。わらべ歌や太鼓・タンバリンなどを使ったリズム遊び、ダンスなど普段の様子を保護者に見てもらうことで子どもたちの成長と一緒に感じられる行事を目指している。</p> <p>保護者の協力を得ながら多様な参加形式が実現している</p> <p>行事の開催に際しては、限られたスペースであることから希望するすべての方々の参加が望めなかったが、保護者の提案からはじまり、準備等の協力により、多くの方々の視聴を可能としたWEB中継が実現している。行事の成功とともに保護者同士の交流・輪の広がりにつながったことを認識している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝からの活動の流れを踏まえた過ごし方、関わり方を心がけている</p> <p>保育時間が長くなる子どもに対しては安全に過ごせるよう環境を調整し、ゆったりとくつろいで過ごしてもらおう努めている。気持ちを発散して楽しく遊ぶスペースとゆっくり休息出来るスペースを分けるなど、対応と調整に取り組んでいる。また、担当職員から情報を確実に引き継ぎ、朝からの活動の流れを踏まえた過ごし方、関わり方を心がけている。</p> <p>クッションの活用など工夫により長時間保育への対応がなされている</p> <p>保育時間が長くなる場合は、特に家庭にもあるような玩具や絵本を準備する、クッションを多く配置するなど子どもたちが不安なく、くつろいで過ごせるよう配慮に努めている。特にクッションについては、クッション自体を使って遊んだりつつ、もたれて休めるよう使用しており、子どもたちに安心をもたらすアイテムとして活用がなされている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>小グループにより落ち着いた雰囲気の中、食事がなされている</p> <p>ゆったり落ち着いた雰囲気の中で楽しく食事が出来るよう、年齢や月齢に合わせた小グループにて食事が進められている。毎週給食会議を開催し、季節の食材を使用し季節感のある内容になるよう、栄養士が創意工夫しバリエーションに富んだメニューの提供に努めている。毎月の献立がたてられており、ICTシステムを活用し保護者への配布がなされている。</p> <p>「三段階チェック」など食物アレルギーへの対応に取り組んでいる</p> <p>食物アレルギーをもつ子どもについては代替・除去などの対応を図り、「三段階チェック」を経て提供がなされている。①栄養士と園長による確認、②栄養士と担任による確認、③子どもの名前を声に出すの三段階が設定されており、協働の確認にて細心の注意を払うよう取り組んでいる。子どもたちの喫食状況については、検食簿、給食日誌、連絡帳にそれぞれ記入し、子どもたち一人ひとりの発達や健康状況を記録する体制が整えられている。</p> <p>留意・工夫・探求が年齢・月齢にあわせた喫食や食育を可能としている</p> <p>調理担当職員の注力や見通しを立てた計画により子どもたちの年齢や月齢に合わせた喫食がなされている。手づかみ食べや発達にあわせたからカトラリーの使用がなされており、これらは食材の大きさや固さに対して留意した調理への工夫により可能となっている。週に一度行われる給食会議では、子どもたち一人ひとりの発育状況や好みなどの共有を行い、調理担当職員を中心に献立や調理方法を日々探究している。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>自身や他者の安全に関心を持てるような関わりを持っている</p> <p>散歩や外遊び、異年齢保育を通して、子どもたちが自身や他者の安全に関心を持てるような関わりを持っている。また、手洗いや食事時の口拭き、清拭、シャワー・沐浴などを通し、子どもたちの衛生に注意を払いつつ、自身での衛生や健康を確保できるよう心地よさを通じて指導に取り組んでいる。感染症マニュアル・アレルギーマニュアル等を整備し、子どもたちの衛生・安全への留意を周知している。</p> <p>目視と確認・観察表への記録をもって快適かつ安全な午睡に取り組んでいる</p> <p>複写式の連絡帳はタイムスケジュールの欄があり、子どもの生活の様子を保護者と事業所で時間ごとに記入している。家庭と園とで情報を把握・共有する仕組みを整えており、共同して子どもたちの健康維持に取り組んでいる。午睡時のSIDS防止は年齢や月齢により定めた間隔によりチェックしており、職員による目視と確認・観察表への記録をもって対応がなされている。子どもの眠りを妨げずかつ安全を確保するよう園全体で対応に取り組んでいる。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p>子どもたち同様保護者に対しても配慮ある対応に努めている</p> <p>保護者の就労や状況に応じて可能な限り柔軟な対応に努めており、子どもたち同様保護者に対しても配慮している。延長保育や土曜日保育の利用については、入園前の見学や入園説明会にて説明を行い、要望についても柔軟に対応出来るよう話し合いを重ねている。子どもたちの生活リズムの維持や食事等、子どもの健康な発育についても連携・協働しながら保育を進めている。</p> <p>多角的に寄り添い、悩みの共有を園への信頼に昇華している</p> <p>保護者が一同に集まれる保護者会は、十分な時間と場所を提供出来るよう会議室を借りて行っている。会では連絡・動画鑑賞などの時間と保護者同士が話し合い交流できる時間を分けて実施するなど保護者同士の関係構築ができるよう側面からサポートするなど工夫に努めている。子育て中の男性職員が在籍していることで多面的・多角的に保護者の相談に寄り添い、悩みの共有を園への信頼に昇華させるなど一体感ある保育を実現している。</p> <p>家庭の方針の尊重、子どもの状況の考慮により連携した取り組みとなるよう努めている</p> <p>保護者への支援や配慮について細やかな対応がなされているものの、子ども主体の保育や活動であることが心がけられている。離乳食、トイレトレーニング等については家庭の方針の尊重、子どもの状況の考慮により行われており、特に家庭と平行して行うよう・連携した取り組みとなるよう努めている。連絡帳を活用し、子どもの成長を確認してもらい、家庭と共に保育を進めるよう取り組んでいる。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目9の講評			
<p>地域とのあたたかな交流のもと運営と保育が進められている</p> <p>日々の散歩の際は、あいさつなどを通して近隣の商店や地域の方々とのあたたかな交流を図っている。ハロウィンの際には商店街に協力を依頼し、イベントを楽しんでおり、その御礼も含めて勤労感謝の日には園児からお礼のカードを届けるなどほほえましい関係が構築されている。また、毎年行われる保育園フェスタではパネル掲示の出展を行い地域の方々に園を知っていただく活動も継続的に行っている。</p> <p>近隣福祉施設との交流や合同行事の開催を検討する意向を持っている</p> <p>コロナ禍で出来なかった高齢者施設や放課後デイサービスなどの福祉施設との交流や合同行事の開催を検討する意向を持っている。また、地域の学童保育との連携も視野に入れており、保育が終わった後も子どもたちが地域で生活を楽しみ成長を育めるよう、連続した援助の可能性も検討している。</p>			